

長谷川零餘子 櫻井 俳人。明治十九年五月二十一日群馬縣生れ、昭和二年七月二十七日歿（二八六一一九二六）。舊姓富田、本名清二。別號啄木亭、翠邨。明治二十六年上京、出版書肆大學館勤務。二十八年同僚の井上啞々等と七草會を興じ、俳誌「ホトトギス」、可萬朝報「俳句欄」投稿。四十五年東京帝國大學醫科大學藥學科選科卒。翌年長谷川家の養子となり、おゆ女と結婚。大正八年「ホトトギス」選者、十年「枯野」を創刊主宰。

著書、内藤鳴雪 高濂庵子等論講「子規句集講義」（共著、青峯筆記、大正五年八月十日俳書堂）、可作り方を主とし、可たる俳句講話「俳句の解し方」（大正八年九月五日春水社）、可校注 解釋無村俳句全集」（編、大正十年九月十日日本評論社出版部）、可近代俳句史論（第一卷）」（大正十一年六月十七日日本評論社出版部）、可自然へ滲難して（枯野第一句集）」（編、大正十一年九月二十日枯野社）、可原月舟著「月舟俳句集」（選、大正十一年九月二十日枯野社）、可季節別 年代順 芭蕉俳句全集」（編、大正十四年二月十五日新詩壇社）、可新らしき俳句の作り方」（大正十五年九月十五日春陽堂「新文藝講話叢書」）、可零餘子句集・第一」（おゆ女編、昭和七年一月一日水明發行所、東京堂發賣）等。

